

使徒継承

七十人の一人、聖タダイ（Addai）から現在に至る

この継承の系譜に連なる

主教*

Garland F. Byers, Jr., J.D., D.D.‡

諸国民への主教、使徒的委任のもとに

1. 聖タダイ（Addai）、七十人の一人 CO

紀元30年頃、七十人の一人としてキリストに遣わされた（ルカ伝福音書10:1）

この使徒継承の系譜は、紀元30年頃の使徒タダイ（Addai）から今日にまで及び、2026年現在で1,996年にわたる。

聖タダイ（Addai）から東方教会のカトリコス総主教Shimun XVIII Rubilに至る継承は、アッシリア東方教会が保持するカトリコス総主教の名簿に従っている。これは、東方教会が自らの使徒継承を聖タダイ（Addai）および使徒聖トマスにまでたどる、その同じ名簿である。

聖タダイ（Addai）は、東方の諸教会によって七十人の一人である使徒として崇敬されている。すなわち正教会は8月21日に彼の祝日を守り、1月4日に共に記念される七十使徒の中に彼を数えている。またアッシリア東方教会、カルデア・カトリック教会およびシリア正教会は、彼をエデッサの使徒として崇敬している。歴史家エウセビオスは紀元325年頃、聖トマスがエデッサに「使徒であり、七十人の一人であるタダイ」を遣わしたと記録している。

主教職への聖別は、以下に名を挙げる諸教会を通じて、一人から次の一人へと行われた。

この系譜の主教の中には、聖人としても崇敬されている者がいる。その名の傍らの印は、生涯の聖性のみにかかわる。それはいかなる聖別の有効性にもかかわらない。聖人として崇敬されているか否かにかかわらず、表に挙げたすべての主教は、継承において等しくその位置を占めている。

聖 聖人：英雄的な聖性の生涯を送り、今は神のもとにある者として教会が公に崇敬し、その記憶を暦において記念する人。初代教会では、聖人は信徒とその主教たちの称賛によって認められた。のちには、ローマ・カトリック教会では正式な列聖によって、正教会では列聖（glorification）によって認められるようになった。

福者 福者：ローマ・カトリック教会において、列福された人。列福は聖人としての列聖に先立つ正式な段階である。

C ローマ・カトリック教会により聖人または福者として崇敬されている。

CO ローマ・カトリック教会と正教会の双方で聖人として崇敬されている。

赤 殉教者：信仰のために命をささげた者。

誰が聖人であるかについて、諸教会の見解は常に一致するわけではない。ある教会が、他の教会が崇敬しない人を崇敬することもあり、印はそれぞれの聖人をどの教会が崇敬しているかを示している。

セレウキア・クテシフォン

七十人の一人であり、聖トマスがエデッサに遣わした聖タダイ（Addai）と、その弟子である聖アガイおよび聖マリによって創設された東方教会。セレウキア・クテシフォン、後にバグダードに主教座を置いた東方教会のカトリコス総主教たち。聖アガイから Shemon VII Ishoyahb まで。

2. Aggai 66年頃
3. 聖 Mari [C] 81年頃
4. Abris 121年頃
5. Abraham I 159年頃
6. Yaqob I 190年頃
7. Ahadabui 204年頃
8. Shahlufa 220年頃
9. Papa bar Aggai 280年頃
10. 聖 Shemon bar Sabbae [CO] 殉教者 329
11. 聖 Shahdost [CO] 殉教者 341
12. 聖 Barba'shmin [CO] 殉教者 343
13. Tomarsa 363
14. Qayyoma 377
15. Isaac 399
16. Ahha 410
17. Yahballaha I 415
18. Maana 420
19. Farbokht 421
20. Dadisho 421

21. Babowai 457
22. Acacius 485
23. Babai 497
24. Shila 503
25. Elisha 524
26. Paul 539
27. Aba I 540
28. Joseph 552
29. Ezekiel 570
30. Ishoyahb I 582
31. Sabrisho I 596
32. Gregory 605
33. Ishoyahb II 628
34. Maremmeh 646
35. Ishoyahb III 649
36. Giwargis I 661
37. Yohannan I 680
38. Hnanisho I 686
39. Sliba-zkha 714
40. Pethion 731
41. Aba II 741
42. Yaqob II 754
43. Hnanisho II 775
44. Timothy I 780
45. Isho bar Nun 823
46. Giwargis II 828
47. Sabrisho II 831
48. Abraham II 837
49. Theodosius 853
50. Sargis 860
51. Enosh 877
52. Yohannan II 884
53. Yohannan III 893
54. Yohannan IV 900
55. Abraham III 906
56. Emmanuel I 937
57. Israel 961
58. Abdisho I 963
59. Mari II 987
60. Yohannan V 1000
61. Yohannan VI 1012
62. Ishoyahb IV 1020
63. Eliya I 1028
64. Yohannan VII 1049
65. Sabrisho III 1064
66. Abdisho II 1074
67. Makkikha I 1092
68. Eliya II 1111
69. Bar Sawma 1134
70. Abdisho III 1139
71. Ishoyahb V 1149
72. Eliya III 1176
73. Yahballaha II 1190
74. Sabrisho IV 1222
75. Sabrisho V 1226
76. Makkikha II 1257

77. Denha I 1265
78. Yahballaha III 1281
79. Timothy II 1318
80. Denha II 1336
81. Shemon II 1385年頃
82. Eliya IV 1405年頃
83. Shemon III 1425年頃
84. Shemon IV 1437年頃
85. Shemon V 1497
86. Eliya V 1502
87. Shemon VI 1504
88. Shemon VII Ishoyahb 1539

Shimunの系譜

1553年以降、東方教会が聖アッダイと聖マリの後継者として数えるShimunの系譜のカトリコス総主教たち。Shimun XVIII Rubilまで。

89. Shimun VIII Yohannan Sulaqa 1553
90. Abdisho IV Maron 1555
91. Yahballaha IV 1577
92. Shimun IX Dinkha 1580
93. Shimun X Eliya 1600
94. Shimun XI Eshuyow 1638
95. Shimun XII Yoalaha 1656
96. Shimun XIII Dinkha 1662
97. Shimun XIV Shlemon 1700
98. Shimun XV Maqdassi Mikhail 1740
99. Shimun XVI Yohannan 1780
100. Shimun XVII Abraham 1820
101. Shimun XVIII Rubil 1861

インド

1862年に総主教Shimun XVIIIによってインド府主教に聖別されたMar Abdishoから始まり、各主教はその前に記された主教によって聖別された。

102. Anthony Thondanatt (Mar Abdisho) 1862
103. Luis Mariano Soares (Mar Basilius) 1899

イングランド

1902年にマーシアの主教として聖別されたMar Jacobusから、各主教はその前に掲げた主教によって聖別された。

104. Ulric Vernon Herford (Mar Jacobus) 1902
105. William Stanley McBean Knight (Mar Paulus) 1925
106. Hedley Coward Bartlett 1931
107. Hugh George de Willmott Newman (Mar Georgius) 1945
108. Richard Kenneth Hurgon 1946

スウェーデンとアメリカ合衆国

スウェーデンのBertil Perssonから、この継承を今日に伝えた主教まで。

109. Nils Bertil Alexander Persson 1985
110. Samuel Guido, Jr. 2004

111.

Garland F. Byers, Jr.

2013

東方教会のカトリコス総主教と共有する継承

現在のアッシリア東方教会のカトリコス総主教 Mar Awa III とバイヤーズ主教は、同教会が保持する名簿に従い、聖タダイ（Addai）から Mar Shimun XVIII Rubil（1861–1903年カトリコス総主教）に至るまで、東方教会のカトリコス総主教の継承を共有している。Mar Shimun XVIII Rubil は1862年、バイヤーズ主教の系譜に連なる Mar Abdisho (Anthony Thondanatt)を聖別した。

聖職

按手

2008年8月17日、按手により。ペンシルベニア州パーマートンのSt. Paul's Lutheran Orthodox Chapelにて。

主教聖別

2013年4月20日、聖餐の執行の中で按手により。St. Paul's Lutheran Orthodox Chapel（この日はペンシルベニア州スラティントンのAmerican Legion Post 16で集会）にて。

主聖別者

主教 Samuel Guido, Jr.

共同聖別者

Bradley A. Varvil 主教

Michael Byus 主教

James Thompson 主教

奉仕

2013年4月20日、Lutheran Orthodox Church, Inc. において主教聖別を受け、その後同団体において Western North Carolina 教区の大主教を務めた。バイヤーズ主教は現在、同団体に所属していない。

名誉神学博士（honoris causa）、Lutheran Orthodox Church, Inc. より授与、2013年4月20日。

按手および主教聖別の証書は、主教聖別の写真とともに、主教についてのページに掲載されている。



本ページの日本語の聖句は、すべて文語訳聖書（旧約：明治元訳、1887年／新約：大正改訳、1917年、日本聖書協会）から引用しています。いずれもパブリックドメインです。本文：ウィキソース。聖句は抜粋して引用しており、省略箇所は「……」で示しています。

エデッサの使徒、聖タダイのイコン。板にエンカウスティック（蝋画）、10世紀、アブガル王の三連画より。シナイ山、聖カタリナ修道院。 画像出典：Wikimedia Commons、パブリックドメイン。原画からトリミングおよびサイズ変更を施した。